

ご提案書 「鴨川語らいの道」構想 (ポストコロナ版)

京すずめ文化観光研究所
理事長 土居好江



映画古都の制作で気づいた京都の魅力

- ロケ地の選定と京都の魅力再発見に3年かけて分かったこと
- 「人は死んでも何も残せないが、自然はあるがままにのこる。この美しい自然をのこし守るのが人間の役割
- 『古都』を執筆された川端康成先生への恩返しが再発見のスタート
- 山紫水明とは川と山がセット、時刻を表す言葉
- もともと山紫水明とは時刻を示す言葉
- 京都の自然、川や山から私たちは励まされている

山紫水明



京すずめ文化観光研究所

3

withコロナの社会から起こった欲求

- 動画配信のNetflix は過去最高益、アマゾンも1月～3月売上比前年の26%増、754億5200万ドル(8兆9000億円)
- 新しい生活様式へ・リモートワーク、ZOOM会議米国3億人参加4月20日間で1億人増加、オンライン化、地方移住、
- 通販米国コストコ2～4月ネット通販65%増
- 社会的、経済的不安の増大売り上げ、百貨店売上5月6～8割減
- 米国の4週間のロックダウンで1年分の自殺企図(米国ABCニュース)

京すずめ文化観光研究所

4

コロナ後の暮らしと観光

- コロナで失った大切なものを取り戻し、楽しみたい
- 人と会えない、移動できない、集えないことへの不安
- ホテル、交通機関の利用客激減
- エンターテイメント等の稼働率ゼロ

本来の観光とは

その土地の光を見ること、観光の観とは観せること
「観國之光 利用濱于王」お観せするということ

See→Show

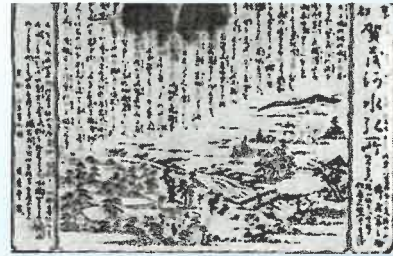
その土地に行けないから、インターネットで情報を
探しに行けるオンライン上で配信する

何時か、必ず戻ってきてくれる観光客に

京のまちのシンボル鴨川

世界で、これほど美しく山辺と川辺がマッチしている川はありますか？

京都の遊び、癒し、文化、歴史、安らぎ、京都人のこころが詰まった鴨川



江戸時代の賀茂河水弘所」引札

京すずめ文化観光研究所

基本コンセプト

- 鴨川を単なる散策路としてだけでなく、先人の知恵を学んだり、京都の文化や歴史を五感で感じる場とする
- 鴨川から元気をもろう仕掛け自然との語らい
- モノからモノ語りへ、京都の物語のある鴨川
- 多言語で発信。文化庁の京都移転の折、言葉のもつ力を見直し【立て札】を河川敷に設置し、鴨川の水辺の回廊をつくる。

京すずめ文化観光研究所

5

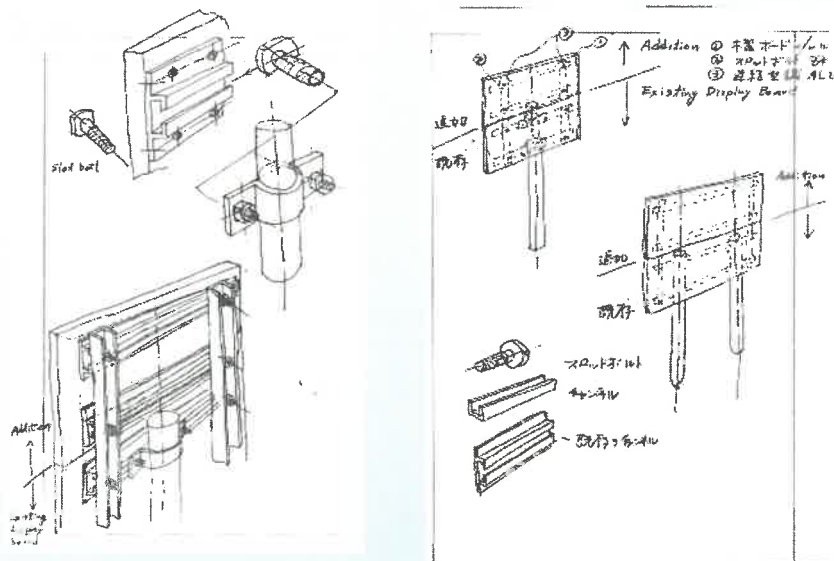
日本人のDNAを受け継ぐ人々が京都の鴨川を散策する時、IT世代の若者もすべての方々が「美しい自然」「生きる力を取り戻す言葉」に触れ現在人が忘れかけてる大切な精神(こころ)を取り戻す

三密回避の鴨川、観光ニーズ

標識、立て札の提案



立札の取付け



- 既存の立札にアルミチャンネルとスロットボルトで取付ける
- 既存の表示板に使用されているチャンネルを今回の立札に使用
- C型チャンネルとスロットボルトは市販品を購入

京すずめ文化観光研究所

11

鴨川の活性化の立て札

鴨川で詩や言葉を多言語で発信（過去から未来）

河川敷で立て札に携帯をかざすと、その情景にあった言葉がスマホで確認が出来て、違う観点から川を楽しむ事ができる

言葉だけでなく、音楽、描かれた絵画などが見えるQRコードも設置、ポケモンゴーのような感覚で扱えるもの

京すずめ文化観光研究所

12

バーチャル・リアルの共存する世界

鴨川語らいの道をオンライン配信

更に現地へお越し頂けるように（多言語での配信）

環境に配慮して出来るだけモノを増築したり、増やさないよう、
最小限のサインで

スマホがなくても楽しめるツールを用意

京を愛でる人の作品を知ってほしい

京都がいろんな作品の舞台であり、インスピレーションの源であったことと、今後もそう
あってほしい願いを込めて、立て札を製作

鴨川を「心身の健康」を支える空間の仕掛けを

鴨川から生まれた言葉→山紫水明、(川辺と山辺の風景)納涼床・川床

鴨川の夕日見たくて京都旅(京すずめ主催の京都への恋文公募事業)

平安時代から今日まで、恋愛の詩に鴨川が登場

自然の歴史と人間の歴史の交差点・水害対策の歴史

四季折々の鴨川の河川敷



東山魁夷画伯の言葉

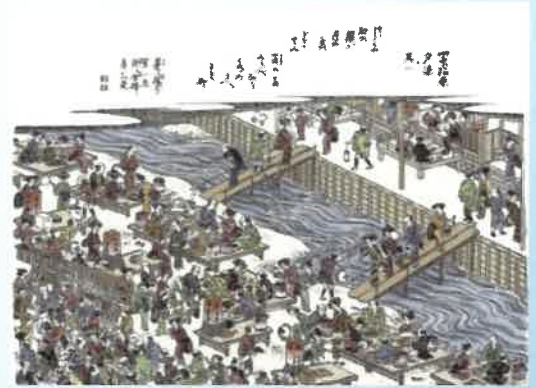
「京都の自然ほど、季節の移り変わりを敏感に受け止めて、繊細
優美な美しさを反映するものはあるまい。京都の生活ほど、季節
を親しく結びついて営まれている例も少ないと思う。それは遠い
昔から日本人の美の心の基盤であり、支えであり、現れであっ
た」

鴨川から京都の文化を垣間見る

- 江戸時代の京都の風物詩・川床
- 盆地の蒸し暑い時季の工夫



京すずめ文化観光研



17

歌舞伎 芝居小屋

- 室町時代から始まった河狩り、夜は夕涼み
- 江戸時代、五条河原、四条河原は繁華街のように賑わった
- 歌舞伎踊の阿国、芝居小屋、見世物小屋・大橋
- 身元保証人のいない武士・徒者



哲学の道と鴨川語らいの道構想

- 琵琶湖疏水沿いの散歩道・哲学の道
- 鴨川語らいの道構想全長23キロメートル
- 『田舎の3年京の昼寝3日』 司馬遼太郎
- 幕末の諺（田舎の学文より京の昼寝）「国学分類諺語・蜂屋茂橋編」



1. 歴史的な事件の場所、文学に登場する現場、映画のロケ地、おススメの眺望、絵図に登場する現場、水害等の記録、鴨川に住む魚や野鳥等についての立て札を設置
2. 京都ならではの川辺、山辺の風景を楽しむ散策路
3. 河川敷に芝居小屋のあった江戸時代、鴨川が文化の発信基地であったように、鴨川や町筋の散策路の有効活用を京都観光の切り札としたい。他都市とは異なる千年の都であった集積を如何に発信するか
4. 子育て、教育、健康づくりの取り組みも

5. 散策路の設置で、一つの碑文の一碑オーナーを募り、広く全国の京都ファンから碑文の公募を行い設置する。
6. 京都訪問ができない方には京都府のHPでバーチャル鴨川の発信（多言語で）デリバリーの鴨川の様子
7. フードトラック（キッチンカー）の導入



8. スマホやパソコンでゲームや仕事で向き合う時間が長くなった現代にあつて、鴨川を親子や恋人や仲間で歩く時は、デジタルデトックスを提案して、鴨川の自然を五感で味わえるように工夫していきたい

9. 更にスマホをかざすと、碑文の説明や音がでてくるような仕掛けも取り組みたい

京都を味わい楽しむ！

- 京都に住んでいてよかった！
- 京都を訪問して、良かった！
- 京都があっ てよかったと思える自然との触れ合いや暮らし
- 暮らしに根ざした取り組みこそが、文化となり、語り継がれる京都に
- 次世代へ語り継ぐ京都を、鴨川を通しても伝承

日本交通公社『旅行年報』2019

旅行タイプ別の行ってみたい日本人の旅行先の

第1位 京都府の歴史・文化観光（24%）

都市観光ではシンガポール、フランスと共に5位

行ってみたい旅行先では、北海道、沖縄に続いて京都府が第3位

運用

碑文（立札）の碑文の40%は寄付金付き公募とする。

キッチンカーは許可制として、売り上げの何%を徴収



京すずめ文化観光研究所

25

鴨川から勇気や希望をもらおう仕掛け

そこに居るだけで心が豊かになり、

それがエネルギーにかわるまち・京都

コロナ不安からの欲求を鴨川で癒す為にも、
語らいの道プロジェクトを立ち上げたい

京都ならではの鴨川から自然の力、文化の
力を受け取る仕掛け

京すずめ文化観光研究所

26

Thank you for your viewing

ご清聴ありがとうございました。

